

## 令和7年度第1回伊賀市スポーツ推進審議会会議録

日時：令和7年6月4日（水）午後1時30分～午後3時

場所：市役所本庁舎 5階501会議室

出席者：中井洗一、對馬浩美、田中栄一、辻本茂和、初矢千秋、松尾佳子、福岡和代、山本いずみ  
辻喜嗣、樋口優子、田邊泰志、森本京子

中矢地域力創造部長、佃地域力創造部次長、竹内スポーツ振興課長、山岡主幹、葛原主任

事項1 開会・あいさつ

2 協議事項

- (1) 伊賀市スポーツ推進計画の進捗状況について
- (2) 伊賀市スポーツ施設再編整備計画の進捗状況について
- (3) 伊賀市アーバンスポーツ施設の検討について

3 その他

- (1) 市民スポーツフェスティバルについて
- (2) 2025伊賀上野シティマラソンについて

1 開会・あいさつ

- ・中井会長あいさつ
- ・会議の成立の報告
- ・会議及び議事録公開の確認

2 協議事項

(1) 伊賀市スポーツ推進計画の進捗状況について 資料1

(会長)

それではまず、(1)伊賀市スポーツ推進計画の進捗について議題としたいと思いますので、事務局の方からの説明を求めたいと思います。

(事務局)

事務局説明。

(会長)

ただいま、伊賀市スポーツ推進計画の進捗状況の説明を受けました。

委員の皆さんからのご意見、ご質問等はございませんか。

(意見等特になし)

(会長)

ないようですので、また、最後の方でも、もし言い忘れたということがございましたらお受けしたいと思います。

(2) 伊賀市スポーツ施設再編整備計画の進捗状況について 資料2

(会長)

それでは、協議事項の(2)ですが、伊賀市のスポーツ施設再編整備計画の進捗状況について、説明を事務局に求めたいと思います。お願いします。

(事務局)

事務局説明

(会長)

ただいま、伊賀市スポーツ施設再編整備計画の進捗を踏まえて令和6年度の実績、並びに令和7年度の整備計画の説明がございました。今の説明について、委員の皆さんからのご意見、ご質問などあるいはご提案、提言も結構です。承りたいと思います。

(委員)

レクリエーションスポーツの中で、パラスポーツを障害のある方と一緒にやっています。そうすると、暖房冷房のある体育館というのが伊賀市にはありません。以前は、ゆめドームを借りていたのですが、少し何か敷居が高くなってしまって、借りづらい状況で、例えばボッチャをするにしても待ってる時間が出てきますので、そうしたときに、ある程度の冷暖房、特に去年あたりから酷暑で、どこでも大変な状況になっていますので、そういった施設が1つでもあれば、そこに集中するかもしれませんが、いいと思っております。計画の中には無いかとは思いますが、緊急性の高いものだと思いますので、またお考えいただけるとありがたいと思います。

(会長)

空調に関しての、要望に近いご提案と思いますが、事務局何かそれに対して答弁ございますか。

(事務局)

このスポーツ再編整備計画につきましては、10年間の計画となっております。令和7年度と8年度のこの2年間で、中間見直しの時期となっております。今、委員からご意見いただきましたように、確かに、昨今は熱中症等のニュースが多くなってございます。今回の令和7年度8年度の間見直しにおいて、次回の審議会でもお示しさせていただくのですが、この再編整備計画の見直し案の中で、取り入れたいと考えてございます。

(会長)

ありがとうございます。他にございませんか。

(委員)

この予算の合計が、大体どのぐらいになるかと思ひ合計をしたところ、令和7年度でこれだけLEDを各施設で変えていきますと、他のところもこれからは、2026年問題ですか、蛍光灯がなくなるということで、予算が令和7、8、9年度は大変な額が必要になるかと思ひます。この先の

見込みをしっかりと考えていただきたいと思います。先ほどのクーラーもそうですが、だんだん温暖化で暑くなってきて、運動をしたくない、行っても暑いなど、もうやらないというような傾向にならないように、環境設備というのをもう少し費用面を含め頑張りたいと思います。

(会長)

予算的なものは、今分かりますか。

(事務局)

予算は今お示しできませんが、LED化は庁内全体で民間提案制度を活用し調査をして、どこからLED化していこうかという検討をさせていただいております。その制度から漏れる場合もありますので、その場合は当課で検討し改修をさせていただこうと思います。

(会長)

はい、どうぞ。

(委員)

そうしますとスポーツ施設のLED化だけのみならず、全市的に、公共施設についてのLED化を推進していこうということによろしいですか。優先順位を決める必要はあると思いますが。

(事務局)

そうです。道路とか公園とか、そういったところは進んでいますが、まだ全てということではないので、順次進めていくということでございます。

(会長)

それでは、他の方のご意見はいかがですか。はい、どうぞ。

(委員)

陸上競技、運動公園競技場ですけど、天然芝の段差解消工事ということで、これは芝の張り替えでしょうか。どのような工事なのかお聞かせいただきたい。

(事務局)

競技場内にサッカーコートがございます。そのサッカーゴール付近になりますが、ゴールポストを設置した際に、既存の芝生の高さとしへこんだ部分がございますして、ゴールを安定して設置できない、また選手がオーバーランしたときに危険を伴うなど、競技団体、サッカー協会等から、ご指摘をいただいているところでございます。その段差となっている部分について、最小限の範囲で天然芝の張り替えや、また人工芝を上を設置させていただく方法で、段差を解消させていただく工事となっております。

(委員)

今のままの芝生の高さということですね。ということは、競技場全体のフィールド自体が10センチか15センチくらい高くなっている、その解消ではないと。そこをまずやらないと、ゴールポストの後ろとの段差がかなりあると思います。以前、陸上競技協会の方へ打診があったのは、フィールドの後ろの高跳びのマットを置くところについて、そこを埋めてしまうという話を聞いていますが、その辺はどうなんですか。

(事務局)

今回、その高跳びのマットを置くウレタン部分につきましては、人工芝で対応をさせていただきまして、もとの復旧できる状態の中で、段差の解消をさせていただく方法をとらせていただきたいと思います。ただ、いつでも人工芝を外せるものではないので、また、高跳び競技を再開される際には、ご協議をさせていただくこととなります。今回は、ウレタンの下のコンクリート部分を含め、全て撤去してしまうという事は行わず、既存の状態を残したまま、その部分に人工芝を敷くという対応をさせていただくものとなっております。

(委員)

ということは陸上競技場としては使えないということですか。

(事務局)

高跳びについては、すぐには使用できなくなります。

(委員)

サッカー場にしてしまうというような考え方でよろしいですか。

(事務局)

陸上競技ということではありますと、高跳びの部分に関しましては、一部に人工芝を設置させていただきますので、高跳び競技につきましてはすぐに使うことは難しい面があります。お話いただきました全面的な芝生の改修等を行いますと、地面の高さが揃い、高跳びのウレタンの部分を復活させることができるかと思いますが、現段階において、全面の芝生の張り替えとなりますと高額となりますので、今回は応急処置としまして、危険部分の段差の解消をさせていただきたいと考えてございます。

(会長)

詳細なところまでの要望に近い質問かと思いますが、市としては、限られた予算の枠の中で最大限効果的な計画等を示していただいていると私も承知していますが、まだまだご不満といたしますか、足りない部分もあるかとは思いますが。しかし、限られた予算の中で優先順位を決めながら、計画を立てていただいていると私も確信しております。その中で委員の皆さんが、それぞれ関わっておられる分野に関して、施設へのご意見とかご提案、要望も含めてありましたら、他の委員の方もお願ひしたいと思ひます。

無いようですので、この議題は終わりたいと思ひます。

(3) 伊賀市アーバンスポーツ施設の検討について 資料3

(会長)

次に、諮問を受けております(3)伊賀市アーバンスポーツ施設の検討についてということで、特に、この審議会として答申を出していかなければなりませんので、それに向けての検討ということになります。これからご協議、ご意見をいただきたいと思います。まず、事務局の説明をお願いしたいと思います。

(事務局)

事務局説明

(会長)

ただいま、アーバンスポーツの答申に向けて、現時点でのアンケート結果、これまでの皆さんの意見等に基づき、どういう方向性で答申をするかということの説明がありました。皆さんの中には、それぞれの思いやもっと具体的に答申をすべきだなどのご意見もあるかも知れませんが、これまでのアンケート結果、あるいは、しらさぎ運動公園の駐車場の一角をセクションというものを置きながら実証実験という方法で利用の推移を見守ってきたわけですが、その内容を踏まえ、委員の皆さん、それぞれからご意見を承っていきたいと思っています。

事前に資料を読んでいただいていると思いますので、まず、毎回、指名をさせていただきますが、委員がBMXを中心に教室を開き、またハイトピア伊賀前やJAひぞっこ駐車場でイベントを行われたりしています。今の説明を聞いて何かご意見はありますか。また、後でも結構ですが、要望的なことでも結構ですので、何かございましたらお願いします。

(委員)

他の皆さんがどう思われているのかということをお先に聞きたいと思います。私だけ話してしまうと、私の理想論ばかり話してしまうので、皆さんが本当にどのようなイメージを持たれているか、今後どうしていけばいいのかという声を聞きたいです。

(会長)

委員からこのようなご提言がございましたので、それでは、時間もまだございますので、最後に副会長の意見を聞きますが、まず、私の右の方から、今の率直な考えや思いをお願いします。

(委員)

アーバンスポーツについて、まず私が思い浮かぶのは、やはりスケートボードです。今回、この3X3もアーバンスポーツだと言われて、何かアメリカとかの遊びの中のバスケットボールもアーバンスポーツになるんだと思ったわけですが、今のしらさぎ運動公園の駐車場の一角で、そのスケートボードとかは出来るようになっていますが、それはそれで残してもいいかなと思います。

その他の公園とかに行くと、その公園で遊んでる子供たちが怪我しても困るので、今のまま残すことは、私は賛成ですが、全部のアーバンスポーツの競技ができる場所をつくることは難しい

かと思えます。でも、やはりスケートボードだけでは困るし、そのBMXとは、あの自転車を使う競技だと思うのですが、それもスケートボードの場所で出来るのでしょうか。

(会長)

あとで委員から答えていただきます。それでは次の方をお願いします。

(委員)

私、実は小学校に、今も2日ほどですけど非常勤で行っていきまして、子供らの様子を見ていますと、最近、ボルダリングに行ってる子供がいるんです。あとは、すでにスケートボードをやっているとか。結構、子供らの層では、そういう我々が今までやったことのないことをやっている子供がいるような気がします。ダンスとかでも同じように、きっと習い事としてやっている子供もいるし、そういう意味では、結構、裾野が今広がりつつあるのかなという気はします。ただ、今努力されているみたいなんですけども、子供が見て、あれめっちゃかっこいいからやりたいなというふうに見える場所というのはもっとあると、また変わってくるのかなと思います。でも、具体的に言うと、今のしらさぎ運動公園のところはやはり維持しつつ、あそこをベースに、また、日を改めて何かイベント的なものを開催し、人の目に触れて、テレビでやってたやつが目で見れたらやっぱりすごいなみたいな、そういう機会があってもいいのかなというふうに思います。

(会長)

ありがとうございます。そういうイベントもやったらということで、すでにやってもらっていますが、市がもう少し主導して開催してもいいかなと思います。それでは、次の委員をお願いします。

(委員)

この「する」「みる」という中で、「する」は、やはり限定されると思いますが、私ぐらいのもので見るとすごくワクワクして元気が出ます。「わあかっこいい。」「こんなんできたらいいな」とか、できないけど何か元気が出る。かっこいいというのがすごくありますので、この市民アンケートと利用者のアンケートの差は、まだ見る場面が少ないからだと思います。だから、もう少しケーブルテレビや、紙面ですと、例えば広報いがも今月号を拝見したら、やはり熱中症が取り上げられていましたが、この12ヶ月ある中で、この表紙に、インパクトのある写真とかで、こんな施設がここ伊賀市にもあるんだということを、市民の皆さんは、まだまだ知らないと思います。ただ写真だけだと、やはり動きのあるスポーツなので、動きのわかる何か手だてがあるとさらにいいと思います。デジタルの何かでしてもらおうとか、何か若者や市民全体に見せる場を提供していただけると、この市民アンケートとかの結果も変わってくるのかと感じています。

あと、「する」側からいうと、やはりこの伊賀市の子供たちや若者たちには、そういうする機会がないと思います。私は子供のころはそんな発想もなかったのですが、時代的にも、やはりそういう機会を、チャンスがあるといいなと思います。これは、副会長さんのところで言うべきかもしれませんが、今、委員さんからボルダリングの話も出ました。阿山で初めて、副会長のリーダーシップのもと、体験会をこの2月にしたところ、すごい盛況でした。やはり田舎のものにとっても、興味関心があって、そういう機会があると、どんどん参加して、それをきっかけに深くし

ようとか、もう 1 回だけでいいとか、感想はいろいろですけど、なんかそういうのができる機会を、やはり作って行って欲しいなあと思います。

あと施設の立地で、私としては、サンピアに唯一あったスケート場がなくなったときに、あそこは温泉もあり、文化会館もあって、みんなが集まってくる場所だったので、残念に思いました。もちろん民間だから、私も、ある日行ってみたら、レストランのバーベキューに変わっていたのでちょっとがっかりして、テニスコートとかもありましたが。だから、何かそういうゆくゆくの社会になってきた場合の立地については、行政とか色々な知見がある方からの意見も踏まえ場所を考えてほしいです。もう 1 つ、自転車で行けるといとなかなか郡部のものは難しいです。公共機関も自分だけでは来れないものと思います。サンピアでは送迎バスが 1 時間に 1 本出ています。何かそういう公共交通とか、いろいろトータルで考えていていただきたいと思います。たくさん要望言いましたけど、よろしくをお願いします。

(会長)

たくさんのご意見いただきました。録音していますので要約をしていただければと思います。皆さんの意見を一人一人いただきたいので、自分のお考えは、できるだけ可能な限り要点を要約していただいて、発言していただければと思います。2回3回と意見を言っていただこうと思いますので、それでは次の委員をお願いします。

(委員)

いろいろな体験会とか、そういうイベントが成功するかしないかは、これは、いかに知ってる人を増やすか、ここにかかっていると思います。商工会議所に入っている私たちは全部、経営者となります。事業を運営してる者、そういう者が入ってますけれども、そこで、イベントを成功させるには、いかにどの世代にどうやってコマーシャルをあてて、かつ、絞って何歳代を呼びたいか、そういうイベントでどれだけ人が集められるかで自分の事業をしていますので、経営に繋がるかどうか判断します。体験会とかこういうのも、やはり市の方からでも、会長がおっしゃったように予算をつけて、いかに多くの人に来てもらえるか、ここをもっと強化していただきたいなと私は思います。

(会長)

やはり商工会議所はビジネスということで、特にそういうご意見が主になったということも伺っておりました。お 1 人ずつまたお伺いしていきます。

(委員)

私は、総合型ということで子供たちを中心にいろいろやってもらう中で、アーバンスポーツもいいのではないかと思います。私は、今のままでは施設の整備というのはなかなか難しいのではないかと思います。もう少し、やはり市民の方に分かってもらい、そしてまた、やってもらえるという時期になればと思います。

それまでに、いろいろと施設再編してもらわなければならない施設が、まだまだいっぱいあると思います。これも見るスポーツの中に入れていただいていた方がいいと思いますが、施設の中で見ていただくということも考えなければならないということであれば、いつも言うように市民体育館

は見せる体育館ではないと思います。これは本当に自分たちだけがする体育館であると思います。そういうところもまだまだたくさんあります。そしてまた、見せたいけれども実際はやらないところもあるので、そういうところを、まずはしらさぎ運動公園にある施設を利用していただいて、みんなに来ていただける。そういうイベント等も考えていただいて、今のところで見てもらえるようなことをまずはやっていたといいと思います。もう少し市民にわかるようなスポーツにしていきたいと思います。

(会長)

ありがとうございます。それでは次の委員お願いいたします。

(委員)

私たち一応トップリーグのサッカーをしています。私たちのサッカーですら、まだまだこの日に試合があるということが市民の皆様、把握されてないといいますか、なかなか興味を持っていただけないという部分があります。運動公園の駐車場とか、その試合だけではなくて、その周りで、いろんな弊害はあるかもしれないですが、アーバンスポーツと一緒にさせていただくことが可能であれば、イベント的なことからまず始めて、サッカーの試合も見ながらこういうことを試合の時間以外にできるっていうことを、やっていくという方法はどうかと思っています。

現状の場所につきましては、せっかく作っていただいたところですので、ここも利用しつつ、ゆくゆくはもっと広まっていけば本当に皆さん言われるように、サンピアの近くや、運動公園の近くということであれば、多分子供たちも自力で来れるという場所ではないかなと思いますので、そこを検討していただくということで、まず知っていただくために、私たちも、残念ながらそのイベントを把握できてなかったというのがありますが、どこかで一緒にできることを実現したいなと思っています。

(会長)

ありがとうございます。運動公園の中で、くノ一の公式試合のときに一緒に連携できたらいいなというご意見だと思います。場所と、地面が舗装してないと難しいということを知っていますので、駐車場はいいですね。空いてる元市民プールの跡地とかは、今、土ですので少しそこは難しい面があるかもわかりません。ありがとうございます。続いて、次の委員お願いいたします。

(委員)

アーバンスポーツのきっかけは、やはり元市長の何でも新しいものに取り組むということで、早々にやっていただきました。それで、現市長になりまして、スポーツ関係で、本日説明があった内容によりますと、やはりこれを持続するにはどうしたらいいのかということで、皆さん頭を抱えられていると思うのですが、1つは、まず場所ですが、平たいところから考えると当然寄ってくるには車が必要です。車の傍であれば、ドラレコを使って、防犯の役目もすると思います。現在、一番新しい考え方だと思うのは、防犯の役目をするから駐車場の近いところで場所を提供してもらおうということがまず一番と思います。それから環境関係ですね。それから先ほど言われたイベントですが、イベントでは、この5月の3日から5日まで、今年は、パルクールやりますという内容が書かれた観光のチラシを見ました。こういうことを利用したらいいんじゃないでしょうか。

上野商工会議所の方もいらっしゃるし、観光課もいらっしゃるし、イベントはそこから考えていったら人を集められると思います。

持続というのが本当に難しいから、これから私たちの課題だと思います。

もう1つ、最後に、持続するには、やはり子供さんを守るために、健康管理というものが自分自身に影響してくると思います。この間、テレビで見たのですが、子供さんの足の裏がどれだけひどいかご存じですか。べた足、うき足、これから5年後、子供たちがスポーツをできるかなというのが、少し心配になったので、恐れ入りますが、健康管理に関する足の測定をしてほしいです。少し前に、あるスポーツに来て測ってもらったのですが、自分の靴のサイズ、平衡感覚、それから歩き方の中心というか、そういうのをイベントのときにしてほしいです。スポーツフェスタなどに織り込んでもらうとか、少しそのことを考えていただきたくよろしくお願いします。

(会長)

また違った追加の側面からご意見頂戴しました。それでは次の委員お願いいたします。

(委員)

アーバンスポーツのこと本当に全然わかってなくて、本当に、前回2月に来てから、今日まで全然頭になくて、聞きもしない、触れもしない、見てもなかったので申し訳ないです。でも若い人が頑張っているところは応援したいなと思います。私たちも世代交代していて、若い人たちが伊賀市を活性化していってくれる力になるようなことには、常々、本当に応援したいなと思ってますので、頑張る方向に向いていって欲しいなと思います。

(会長)

日頃、市民の健康の底辺を支えておられると思いますので、そういう意味でまたご活躍をいただけたらと思います。それでは次の委員お願いいたします。

(委員)

卓球チームの運営に関わっています。前回、私自身はアーバンスポーツとは縁がなく、息子が2人いるのですが、社会人になり、興味もない状態でした。でも、卓球の子たちに少し聞いてみたのですが、友達でスケートボードをやっている子がいて、大阪まで習いに行ってる子たちとか、本当にうまい子がいるよという話を聞きました。やってみたいっていうようには思っているみたいで、友達と遊ぶ時に少しやらしてもらったとか、そういうのを聞きました。関心がないっていうよりも、見たことがない、触ったことがないというのが、まずは実情だと思います。たまたまですが、昨日ケーブルテレビを見まして、BMXの試合が放送されてました。前輪後輪が上がった状態で前輪に立っているだけの状態やバランスをとっているだけの状態の子から、くるくる回っている状態の子まで、いろいろな姿を見せてもらったのですが、主人も横で「おおっ」て言うぐらい、やっぱり見て楽しいんですよ。なので、そういうイベント、以前にもひざこのとこで何かイベントされたというのをお聞きしましたが、そういうイベント会場での、興味をまずはそそるようなところへ参加していただき、今ある、しらさぎ運動公園のところとかの整備を、知識のある方に教えていただきながら整備した上で、関心を持つ人たちを増やしていくというのが、まず先決じゃないかなというのを、昨日テレビ見て特に感じました。

(会長)

ありがとうございます。それでは私の横にいる副会長、お願いいたします。

(委員)

私、伊賀市スポーツ推進委員協議会というところに所属しております。私たちの団体の役割というのは、いわゆる生涯スポーツ的なニュースポーツといわれるものを地区でいろいろ開催したりとか、市民の方に知っていただくということで、そういう体験会であったり、指導であったり、そういった部分を、市内で委員が50人いるのですが、そういった活動をしております。先ほどからもお話があった通り、ここにいる人たちというのは案外古い人ばかりなんで、なかなかアーバンスポーツというものがどんなものなのか、どういう良さがあるのか、ということがよくわかっていないと思います。はっきり言って私も、オリンピック等でしか見たことがないので、やってる姿を見ると、小さいときからされてて、それこそ中学生の子とかがオリンピックに出て活躍してる姿を見ると、やっぱり小さいときからやるのって大切なんだなあというふうに思いました。

また、こちらにもお見えになりますけども、野球、サッカー、卓球、いわゆるメジャーなスポーツをされてきた方がたくさんいますし、先ほども委員の方から話がありましたけど、地元で、今まで駅伝大会とかやっていたのですが、なかなか人が集まらなくて、地元の方の意見で、「1回ボルダ体験したらどうや」と言われて、あんなのやっても誰か来るのかなと思いつつ、阿山の方で募集しましたら、サッカーの子やバレーやってる子を中心にまあまあ少年団の子たちが参加してくれました。特に、若者たちや小さい子たちが、1つの競技だけではなくて、いろんなそういう体験をすることで、やっぱり可能性というのは広がっていくと思います。

昔だったらそれこそ、野球一筋で小学校からずっと続けられることが多く、スポコンのそういう漫画があったかのように思いますが、今はどっちかという、いろんなことをやってみて、いろんな可能性、いろんな楽しみ方をやるのが、いいのかなというふうに思います。当然私たちもそのボルダに行ったら、私もやってみましたが、楽しいですよ。面白いな、またやってみようかな。今まで結構ハードル高いなと思ったこともやってみれば楽しいし、私たちも今、スポーツ推進委員として、ボッチャやモルックを中心に、各地区で呼ばれて、指導に行ったりするのですが、やってもらおうと、結構楽しくやってくれます。ああ面白かったなあ。あの時はああやったな、こうやったな、とそういう話が出ます。これは、アーバンスポーツに限らず、みんな同じだと思います。スポーツは体験してもらうことが一番大事というのが、私の意見で、ここの答申内容のところにも書いてありますけども、いろんな体験、教室などのソフト事業を展開するというようなこと書いてくれていますけど、この指導者がどれだけいるのかわからないのですが、そういった部分を、できるだけ多く、開催していただいて、いろんな人に、体験してもらおう。特にやっぱり私らも、いろいろイベントをするときに、子供が集まるような、イベントを企画すると親がついてくるんですよ。それを、利用しよう。1人ずつ、個々に来てもらったら1人やけども、子供を呼んだら、親がついてきて2倍3倍に増えてくるので、それなりに人がいると、何かやった感がでます。私らも、開催して思うことがあって、そういった部分でこのアーバンスポーツはどちらかという、お子さんとか小学生の方が対象なのかなと思うので、そういった対象をある程度絞って、いろんなところでイベントと、今おっしゃってくれてたサッカーのイベント等、そういう試合などでうまくバッティングさせて、まずは市民の方に周知して行くということが第1であるかなと思うし、

今の施設は施設で残していったら、そこであと何年かして、競技者が増えてきたら、例えばそれが伊賀市の1つの特徴になるのかなと思います。市内には多くの施設があり、今も意見が出ていたけど、新しくしたいという施設はいっぱいあるので、みんなが納得した上で、アーバンスポーツ施設もそら欲しいわなあというところを、わかってもらうという意味で、もう少し時間はかかるかなというふうに思います。地道に続けていくことがいいと思います。

(会長)

そうしましたら、最後に今の皆さんの意見を受けて、ご意見とか、要望も含めてお話をさせていただきたいと思います。

(委員)

皆さんありがとうございます。お話を聞かさせてもらって、本当にこのアーバンスポーツというのは、世界的にもまだまだ狭いと感じました。昔は、アンダーグラウンドと言われてまして、本当に地下の裏の方でスポーツをしてた感じのものでした。本当に街中でスポーツしてた感じのスポーツとといいますか、そういう遊びから始まるスポーツなので、私は、もともとバスケットボールをして、対戦相手がいって、戦ってはいたのですが、本当に、アーバンスポーツというのは自分と戦うスポーツなので、そこが、若い子たちにとりつきやすく、でも入っちゃうとすごく難しく、やっぱり違うスポーツ行ってしまうスポーツでもあります。そこはやはり、こう広がりにくい部分でもあるのかなと今思いました。

(会長)

ありがとうございます。

特にこの審議会では、この答申の事務局側からの案というのが、1つは、現状のしらさぎ運動公園の施設をそのまま維持をしていこうという方向性となっています。

今日は、様々なご意見いただきました。いろいろなイベントやソフト事業として展開していく。それには、他のスポーツイベントとの連携、タイアップをしながら行ってはどうかというご意見もございました。それから、やはり広報啓発のやり方、これは、相手がいるわけですし、伊賀市民なのか、あるいは市外の人に向けての広報のあり方、やり方、より効果的なやり方を考えるなど、こういうご意見もたくさんございました。全委員の皆さんの意見を受けて、事務局として、今少し言えることとか、何か思いとか、部長なり次長なり課長もおられますが、特に、ご意見とか感想でも結構ですのでどうですか。幹部の皆さんとして、ざっくりと統括する立場でも結構ですので、ご感想でも結構です。

(事務局)

ご意見いただきありがとうございます。

今日の意見を踏まえて、次回までには、取りまとめた内容というのをもう一度、精査させてもらえたらと思います。それから、今日の1番の項目でスポーツ推進計画の進行管理と2番の方では、今の施設の整備計画の進行管理についても説明をさせていただきました。合併して伊賀市は20年経つということで、この20年間でどちらかというと6つの市町村が寄ってきて、1つの市になっていくという動きの中で、施設の再編は統廃合も含め、再編ということを中心にやってきました

けども、今20年たって、少し段階が次のステージへ来たのかなとも思っています。公共施設の再編をどのようにこれからしていくのかということ、もう一度描き直すという時期に来ているのかなと思っています。そんな中で、このスポーツ施設の計画について、先ほど事務局から説明があったように、今年度と来年度が、この10年間の計画のちょうど真ん中になるので、施設自体の計画を一旦この中間の見直しというのをしていく段階となります。もっと大きく言うと、総合計画という伊賀市全体の計画も、今、パブリックコメント中ですが、中間案というのを示させてもらって、新しい計画を作っていくという、そういう段階にもあるので、その中でも公共施設だけじゃないですけども、公と、公と共助というのか、公共というのをどうしていくかということ、みんなで考え直していく、そんなタイミングに来ているのかというふうに思っています。そういう背景のことも踏まえながら、このアーバンスポーツのあり方というのも考えていかなければなりませんし、他のスポーツ施設もそうです。どんどん老朽化してる中で、これらもどうしていくのかを一緒に考えていかなければならないと思っています。

全体通じて私も聞かせてもらってて思ったのは、特に1番の項目のところで、1-2の資料が、例年使ってた資料では細かすぎたので、なかなか総論的な話になりづらかったと思うので、今回から全体的にまとめたようなものを、別途用意してもらったという中で、総合目標として皆がスポーツをどれだけ実施していたか、週に1回以上楽しめているかというようなことを大きな目標にしつつ、「する」と「みる」と「ささえる」それぞれの目標を細かく見て、「する」「みる」「ささえる」それぞれのところに、1-2でお示ししてもらってるように、細かな事業についても評価をAからDまでで、評価をさせてもらっています。これは、少しアーバンスポーツからは離れてしまっていますが、総合的な目標のところで見ると、目標値から乖離してたりするし、「する」も「見る」もどちらも目標には達してないという状況となっており、それから、この「支える」の施設のところに関しては一定、稼働率というのはキープできてるのかなというところがあって、なかなかスポーツの計画というのは思う通り進んでいないということが全体として見られます。一方で、その1-2の細かい表を見ていくと、大体こうA、Bという評価となり、少し気になる取組、課題は、Cとのことですが、全体としてはあんまりない状況です。だから、計画で実際やってることは、それなりに活動としてはできてはいるのですが、なかなか市民の皆さんのスポーツに対する取り組みにまで結びついてないのかなということが、状況として見てとれるのかなと思っています。先ほどのアーバンスポーツもそうですけど、対みんながどれだけそこに関与してもらえるか、また関わってもらえるかということが、一番大きなポイントになってくるのかなというふうに今日の会議全体通じて思ったところです。

(会長)

部長ありがとうございました。部長としては大局的な観点からのご意見なのかと思います。私もスポーツ協会に関わって、こういう評価というのは、私も現職の時代によくありました。これ評価してAやから、もう自己満足に陥ってしまっただけは、細かい市民サイドに立った意見がなかなか行政当局では吸い取れないという側面がございますので、こういう評価シートだけで、自己満足で終わってしまっただけはいけないとこがありますので、そこはこういう審議員の皆さんに、本当の現場の話だとか、現場の感覚とかそういったものをより取り入れていただくような、いい機会だと思いますので、現場の皆さん、あるいは自分が特に、参画していただいているということのご意見を頂戴することが非常に重要なと思います。特に意見にもありましたように、日頃スポーツ

協会あるいはスポーツ種目に関わってる人は、アーバンスポーツももちろん大事だけど、もっとより優先的にスポーツ施設の充実が、優先順位が、もっと先じゃないのって思われてる方も多数おられることも事実です。特にこの審議会は諮問を受けておりますので、そこに力点を置きながら、答申案をまとめていきたいなと思いますので、今、事務局からこの内容を案としてまとめていただきましたけど、これについての方向性としては皆さん方、もっと違う文言、もっと考え方あるんじゃないかとか、というご意見がありましたら、もう一度、ご意見を承りたいと思いますが、いかがでしょうか。委員お願いします。

(委員)

最後の、19、18 ページの、答申内容の上から 5 行目の、BMX や 3 X 3 が楽しめる環境を整えた上でという文について、どこまでが基準なのか少し知りたいです。

(会長)

整えるという日本語なんですけど。これを、基準というのがどこまでするのか、答申案にするかどうかなんですけど、そこは事務局どう考えてくれていますか。

(事務局)

こちらの部分のまとめ方として考えておりましたのは、今のアーバンスポーツパークがありますが、いただいた意見の中では、「狭い」などのご意見をいただいています。スケートボードだけでも狭いと言われている中で、やはり BMX とか 3 X 3 などの需要等もありますので、あその部分を残しつつ、あの周辺において、一旦その BMX や 3 X 3 などが安全にできる場所を整えるということが 1 つかなと思っています。その中で、アーバンスポーツが全体的に、関心等が高まってきた際には、本格的な施設の整備に向けて検討に入っていくということが、現段階ではいいのではないかと考えています。

このことを踏まえ、今の場所だけでは難しい部分であれば、もう少し、しらさぎの公園の中かその周辺で、具体的な場所はないんですが、そういったところの空いてるところで、このバスケットボールの 3 X 3 や平地で BMX ができるみたいな場所までは、少なくとも整えた上で、状況を見守りたいというふうに考えているところでございます。

(会長)

委員、いかがでしょうか。特にしらさぎ運動公園の近隣で、市が所有してる市有地の中で、3 X 3 というのはバスケットボールのゴールを 1 つ置くだけのものです。だから、範囲、エリアとしてはそんなに広く必要ないということです。BMX に関しても委員どの程度が、これは限度がないと思うんですけど、どの程度の広さがあればいいのか。最低限とかそういうので、市の方で検索なり、考えていただくという意見や回答と思うのですが、いかがでしょうか。

(委員)

広さはスケートボードができる広さで全然大丈夫ですが、委員がおっしゃってくれたように、ビジネスといいますか、人が集まりかけてから施設を作り出すと、もう離れていくんじゃないかなと思っています。普通に考えると、今この全国的にスケートパークが作られていく中で、高まっ

てから作るっていうのなら、伊賀市では、あえて作らずに市の違うところに予算を使ってもらった方が、いいような気がします。関心が高まって欲しいという気持ちはもちろんありますが、高まってからでは遅いと思います。

(会長)

少し時期尚早というか、そういう意味で言われたのでしょうか。

(委員)

高まるというのは、競技者のみんなは、全国的に動くのでそこだけに依存しない傾向があります。5時間かけてでも、その場所に行こうという子がいるので、1日に開催させてもらった私の大会でも、東京から来てくれる人もいます。なので、そういう人たちというのは、すごく足が軽いというか。なので、気運が高まってから作っても、もうその時には、もう違うところに皆が行ってしまっていると思います。なので、そこにお金を落とすなら違うところに、ほんとに大事なことを使ってもらったほうがいいかと思います。

(会長)

わかりました。そういう意味ですね。要するに底辺を広げるために興味を持たすきっかけ的な、まずそこぐらいの設備整備でいいんじゃないのかという、委員のご意見かなと私思ったので、例えば松阪にあるあの本格的なやつは、億かけて作っても、もうそれ以上のところへ全国的で別にスキルをもっとより高めていこうという、子供たち、あるいは選手がおるんであれば、ちょっと他に流れちゃうよというようなご意見かなと思ったのですが。

(委員)

そうです。その背景に本当にまちを盛り上げようとするのであれば、外部から呼び込むことが一番いいと思います。すごく難しいのですが、少し別の話となりますが、最近、週に1回、伊賀の街を歩いているのですが、1時間ぐらい。5キロぐらいですけど。すごい空き家が増えたとか、あとはこの愛宕神社とか昔すごい祭りがあったなあとか、でも今はなくなったとか。このような面白い場所がすごく減っているの。なので、これはちょっとどうなのかなと思っていて、なんで、もっと広告もそうですし、もっといい発信ができないのかというのが、問題じゃないかなと思っていて。なので子供たちに、こういうすごい遊び場ができたから、みんなで遊びに行こうよという発信もできてないと思います。まず、そこをもう少し方向性を変えるべきじゃないかなと思います。これはこの話だけじゃなくて市の問題かもしれないですけど。なのでいい発信ができてないような気がします。

(会長)

委員は特に、ビジネスとしてのBMXもやられてるということを私も承知してますし、それを通して底辺、裾野を子供たちに広げるという意味で市がどう関与していくかということで、施設整備ということも当然ながら視野に入れなければならないので、整備するは、広報のやり方がまずい、あるいは全然承知され、周知されてないことなど少しご意見いただきましたけど、今後、答申案のまとめについては、事務局でもう一度、今日のご意見を十分に精査した上で、部長、次長、

課長と事務局を含め、また私にも、もう少し事前に進捗もお知らせいただきながら、次回に向けて進めていけたらと思います。

あともう一度、もう少し言っておきたいこと、さっき言い忘れたことがありましたら、あと5分10分ぐらい時間がありますので、どうぞ遠慮なしにご発言してください。ございませんか。それでは、本日の限られた時間の中で皆さん一人一人にご意見を聞けてましたので、それなりに事務局の方でも、成果があったと思います。それでは最後のその他ですが、市民スポーツフェスティバルと伊賀上野シティマラソンについて、皆さんへの周知、あるいは知っていただくということでチラシをつけたので、その説明を最後に事務局からお願いいたします。

### 3 その他

(1) 市民スポーツフェスティバルについて

(2) 2025 伊賀上野シティマラソンについて

(事務局)

事務局説明。

(会長)

ありがとうございました。スポーツフェスティバルにつきましても今ここにおられる委員の中で、スポーツ推進委員の皆さん方には、このボッチャとかビーチボールとか、ウォーキング、カローリングこの辺も含めて、お世話になってます。それから、健康体操についても、委員さんにも、非常にお世話になりながら進めておりますので、あとはそれぞれの種目団体の役員の方、関係者にお世話になりながら、この10月26、11月9日に開催を予定しております。それからシティマラソンについても、11月30日の開催で決定しております。天候の善し悪しが非常に大きな、成果の分かれ目にもなるかと思いますが、それを祈りながら今着々と準備を進めております。今年は、昨年と違っておもてなしの内容も少し織り交ぜながら、開催の予定でございますので、皆さん方、また、お誘い合わせの上、すべての人がエントリーできませんけども、見学等応援等でも来ていただければと思いますし、あるいはボランティア登録も、募集しておりますので、できたら、マラソンにはあんまり関係ないよっていう方も含めてボランティアを募集しておりますので、また皆さんお知り合いの方にも、お声をかけていただきながら、ボランティアに参画していただければと思います。

以上で今日のスポーツ推進審議会をすべて終了いたしました。次回の期日については事務局何か予定とかございますか。

(事務局)

はい。時期等まだ決まっていますが、本日、ご意見いただきました内容もありますので、このアーバンスポーツの答申案について、皆様からお寄せいただいたご意見を踏まえて、夏ごろを目途に整理をさせていただきまして、開催をさせていただければというふうに思っております。また、説明の中にもありましたように、施設の再編整備計画の見直し年でもあります。こちらも並行して、見直し案を作成して参りたいと考えておりますので、今後ご審議いただければと思っております。

(会長)

はい、わかりました。

(事務局)

それでは、皆さん方、お1人お1人から貴重なご意見、ご提案、ご要望いただきました。それを含めて、今後生かしていけたらなと思います。それではこれもちまして本日の審議会を終了いたします。お忙しい中ありがとうございました。